

市郡中総体を終えて

～各部活動父母の会の皆様から～



<サッカー部>

昨年の新人戦は部員が少なく8人での戦いを余儀なくされましたが今年は1年生に多数入部いただき11人で試合できることがなによりうれしく思いました。

負ければ引退というプレッシャーのせいか、序盤は3年生の動きが硬くミスが多い展開でしたが1年生の活躍もあり、なんとか3-1で勝利することができました。

たくさんの生徒、先生、OBの方が応援に来ていただき、選手たちの力になったのではないかと思います。ありがとうございました。

全県大会では、まず1勝を目指し、さらには目標としている東北大会出場を目指して、これから短い期間ではありますが、最高の準備をして大会に臨んでほしいと思います。

私も、もう少しの間、応援できることを楽しみにしております。

天南サッカー部父母の会 会長 森川 隆春



＜陸上競技部＞

この夏も天王南のユニフォームカラーを身にまとい、躍動する選手達をたくさん見ることが出来ました。数センチ、数ミリ、１００分の１秒の差で勝敗を左右する一本一本のレース。その一本に懸ける天王南の選手達の顔つき、走り、ゴールした時の表情に、私たち保護者も熱いものが込み上げてきます。

競技だけに限らず、挨拶、競技の運営準備の取り組み方、関わってくれる人々へ感謝する姿勢。天王南の選手たちは最も大切なことを陸上競技を通して身に着けています。故に南都コーチ、三浦コーチ、監督の間瀬先生、近藤先生、関わってくださる方々が全力で選手たちに向き合い、指導してくださってるお陰だと保護者一同感謝しております。

自己ベストを出せて納得した選手、納得がいかない結果で悔し涙した選手。競技場ではそれぞれの気持ちが溢れた、熱気ある今大会となりました。

一つのレース、一瞬のためにどれだけ一生懸命練習してきたか。日々努力して出した今回の結果は、全ての選手のこれからの大きな財産になると選手たちを見て改めて感じました。

陸上部の応援ありがとうございました。

男子女子陸上競技部父母の会
会長 菅原志保子



<バレーボール部>

最高の仲間と共に、悲願の全県大会出場を目指して挑んだ中総体。選手達は最後の最後まで、懸命に粘り強いプレーを見せてくれました。上位2チームに全県大会出場権が与えられる中、結果は3位と、あと一步のところでしたが、それ以上に選手達はかけがえのない経験を共有できたことと思います。

私たち保護者も一致団結し、精一杯声援を送り、選手達のプレーに一喜一憂し、最後は涙を流しながら見守りました。

試合終了後は、みんな悔し涙を流したものの、その後の挨拶では前を向き、全てを出し切った、やり切った表情に清々しさを覚え、誇らしげに感じました。佐藤信誠先生も「みんな最後まで笑みを絶やさず逆境を楽しんだな！」とおっしゃってくださいました。

3年間で経験した喜びや悔しさは、選手達にとって今後大きな財産となり、どんな困難も乗り越えてくれることでしょう。

個人的なことで恐縮ですが、キャプテンとしてチームをまとめるために悩んだこともあったようですが、辛いときこそ仲間が助け、支えてくれたことに感謝します。

日々、選手達に渴を入れ続け、厳しく、ときに楽しくご指導くださった佐藤信誠先生、いつも温かく見守ってくださった石井先生、校長先生、諸先生方、そして保護者の皆様には心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

バレーボール部父母の会 会長 今津谷ひかる



<編集後記>

ご多忙中にもかかわらず、思いのあふれるメッセージを寄稿くださり、本当にありがとうございました。また、様々な場面でのこれまでのご支援、本当にお疲れ様でした。